

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 4 月 11 日(2024.4.11)

【公開番号】特開 2023-154598(P2023-154598A)
【公開日】令和 5 年 10 月 20 日(2023.10.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-198
【出願番号】特願 2022-64032(P2022-64032)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 3 2 6 Z

A 63 F 7/02 3 3 3 A

A 63 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 4 月 3 日(2024.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が実行されている場合に発生し得る所定事象の発生に基づいて所定の遊技価値を付与可能な付与手段と、

前記所定事象の発生又は前記所定の遊技価値の付与に基づいて所定情報が導出されることを可能とする手段と、

前記所定情報に基づいて、所定の遊技の進行が制限され得る特定状態に移行させることが可能な手段と、

30

前記特定状態への移行より前に前記特定状態への移行に関する特定報知が所定の報知手段にて実行されることを可能とする第 1 手段と、

所定の切替条件の成立に基づいて前記特定報知の実行状態から前記特定報知の不実行状態への切り替えが実行されることを可能とする第 2 手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記所定の切替条件は、所定操作手段により所定操作が行われることを契機として成立し得るものであることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特定報知は、前記特定状態への移行を示唆することが可能な報知であることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

40

【請求項 4】

前記第 1 手段は、第 1 条件の成立に基づいて前記特定報知が実行されることを可能とするものであり、

前記第 2 手段は、前記特定報知の実行状態である状況で、前記第 1 条件とは異なるものであって、前記所定の切替条件としての第 2 条件が成立した場合に、前記特定報知の不実行状態への切り替えが実行されることを可能とするものであることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記特定報知の不実行状態である状況で前記所定の切替条件が成立した場合に、前記特定

50

報知の実行状態への切り替えが実行されることを可能とする第3手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

遊技が実行されている場合に発生し得る所定事象の発生に基づいて所定の遊技価値を付与可能な付与手段と、 10

前記所定事象の発生又は前記所定の遊技価値の付与に基づいて所定情報が導出されることを可能とする手段と、

前記所定情報に基づいて、所定の遊技の進行が制限され得る特定状態に移行させることが可能な手段と、

前記特定状態への移行より前に前記特定状態への移行に関する特定報知が所定の報知手段にて実行されることを可能とする第1手段と、

所定の切替条件の成立に基づいて前記特定報知の実行状態と前記特定報知の不実行状態との切り替えが実行されることを可能とする第2手段と、

を備えていることを特徴とする。 20

30

40

50